学術越境プログラム　Phase2 支援プログラム　申請書（様式）

1. **申請者情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 学生番号 | 6 0 3 0 – –　　　　　 |
| 学年 | 修士課程　　　　　回生 | 講座名 | 講座 |
| e-mail |  |
| 指導教員名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

**２. 研究計画**

**（１）から（４）までを３頁以内にまとめて記載して下さい。（５）、（６）については特に長さ制限はありません。**

**(１) 博士後期課程3年間の学術越境研究計画**

着想に至った経緯や動機、当該分野における研究の位置付けを含めて、研究目的、内容を２頁以内で分かりやすく記入してください。特に学術越境の観点から、研究の特色・独創的な点を含めてください。必要に応じて図を用いても構いません。また、専門分野外の教員も審査を行うので、専門用語の使用は避けるか、必ず説明を加えてください。

**(２) 申請者の専門分野と計画する学術越境研究の関連性について**

申請者の専門分野について説明するとともに、連携を予定している他分野（学術、産官学、国際）と、どのように関連して学術越境研究となるのか、説明してください。世界の学術越境／超学際研究（TD: Transdisciplinary Research）の研究動向についても参照していれば、書誌情報も明記してください。

**(３) 計画する研究活動の準備状況（対応機関との連絡状況など）**

連携を予定している他分野の研究者、対応機関との、研究計画の準備状況、連絡状況などを記述してください。

**(４) 修士課程入学時からこれまでの学習・研究内容と学術越境との関連**

修士課程入学以降、あなたがこれまでに特定の講義（例：学術越境研究計画１、学術越境研究計画２）や所属するゼミでの活動等を通して学んだり、Phase1支援プログラムを受けていればそれを通じて吸収したことを述べてください。またそれらで学んだことが、Phase2の研究計画とどのように関連するのか、記入してください。

**(５) 研究費の用途とその必要性**

研究費の使用計画とその必要性について記入してください。

①　予算の用途と金額を以下の表に記入してください。必要に応じて表を追加してください。

②　予算の使用時期を博士課程１回生、2回生、3回生に分けて記入してください。

③　各用途について予算使用の必要性を記入してください。

予算の使用時期、用途、金額

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 使用時期 | 用途 | 金額(円） |
| 博士1回生 |  |  |
|  |  |  |
| 博士２回生 |  |  |
|  |  |  |
| 博士３回生 |  |  |
|  |  |  |

計　　　　　　　　円

各予算使用の必要性について

**(６) 研究業績**

学術論文（査読の有無）、研究発表（口頭・ポスター）、その他（受賞など）を記載してください。